

令和4年度 公益社団法人曾於医師会 事業計画書

はじめに

COVID-19 第6波の中で、会員の先生方にはワクチン接種や診療等にご協力頂き誠に有難うございます。今年1月には、曾於地区にコロナ患者の宿泊施設を開設し多数の患者を受け入れる事が出来き、患者の利便性に大変寄与しているものと思っています。関係各位のご協力に感謝致します。

さて、有明病院は、令和3年9月をもって曾於医師会立病院に吸収・合併する形で閉院になりました。振り返りますと、有明病院は平成9年12月に国立療養所志布志病院から曾於医師会に移譲されましたが、最近では厳しい経営状況が続いていました。医療資源の少ない曾於南部地域に開放型病院の存続を模索してきましたが、患者数の減少・職員の高齢化・建物や設備の劣化等を総合的に判断し閉院という結果になった次第です。

コロナ禍で、全国的に医療・介護の経営は厳しい状況が続いています。曾於医師会の共同利用施設もその例外ではありません。患者や利用者の受診抑制に加えて、曾於地域の人口減少・少子高齢化、職員不足等を考慮に入れながら、曾於地区での持続可能な医療・介護体制を如何に構築していくかを会員皆様で考えていかなければと思っています。まずは、曾於医師会立病院の経営立て直しに着手しなければなりません。

令和4年4月1日付をもって曾於医師会立病院の新院長に吉留伸郎先生が就任されます。吉留新院長には、今後病院経営という重い責任を担って頂く事になりますが、医師会として全面的にバックアップしていく所存であります。又、才原哲史先生には、約20年の長きに渡り曾於医師会立病院の院長として御尽力頂きました。医師会を代表して衷心より感謝申し上げます。今後は、名誉院長としてのお立場から更なる御活躍を期待している所です。

今後も会員の先生方のご理解とご協力を切にお願いする次第であります。

公益社団法人曾於医師会
会長 手塚 善久

事業内容

- (1) 医道の高揚に関する事業
 - (a) 曾於医療圏の医療関連情報の整備

- (2) 医療の普及充実に関する事業
 - (a) 地域医療の充実強化に関する事業
 - (b) 地域医療に関する事業
 - ・日曜在宅当番医制度の維持・向上
 - ・夜間急病センター・救急情報センターの維持・向上

- (c) 各種健診に関する事業
- (d) 予防医学に関する事業
- (e) 公衆衛生に関する事業
- (f) 災害医学に関する事業
- (g) 産業保健衛生に関する事業
- (h) 学校保健に関する事業
- (i) 大学の医学教育に関する事業

(3) 医師の卒後教育に関する事業

(4) 共同利用施設の運営に関する事業

- (a) 病院運営に関する事業
- (b) 介護老人保健施設の運営に関する事業
- (c) 訪問看護ステーションの運営に関する事業
- (d) 居宅介護支援事業の運営に関する事業

(5) 委託事業の運営に関する事業

- (a) 地域産業保健センターの運営に関する事業
- (b) 医療介護連携事業の運営に関する事業
- (c) その他委託事業の運営に関する事業